



恒例春の芸能祭
多彩なプログラムで観客を魅了

5月11日(日)、川内文化ホールで、来年秋に鹿児島県内で開催予定の第30回国民文化祭のプレ大会として第9回春の芸能祭が開催されました。今回は、市内各地域から10団体が参加。郷

土芸能や日本舞踊、特別企画吹き寄せ「水景の郷」などが披露され、磨き抜かれた演技に、集まった約1,000人の観客からは大きな拍手が送られていました。



鹿島
雄大な甕島の自然を満喫！
ウミネコ餌付け体験

5月17日(土)、鹿島地域で、ウミネコまつりが開催されました。当日は天候にも恵まれ、市内外から約150人が参加。参加者らは漁船などに乗船しウミネコの餌付けを体験。小魚を差し出すと、人懐っこく近寄ってくるウミネコに歓声が上がっていました。



祁答院
いざ出陣
蘭牟田古城へ行かん!!

5月11日(日)、蘭牟田古城跡見学会が開催され、約90人の参加者が同古城跡地を見学しました。これは「蘭牟田の歴史、観光研究会」が準備、開催したものです。同研究会員は、「今後も文化財を愛し、地域の活性化につながる活動を続けていきたい」と、地域を思う熱い気持ちを話されていました。



▶炊き出し訓練



▶地区コミュニティ協議会などによる消火訓練



▶大型電気路線バスを使った避難所運営訓練

5月18日(日)、中郷町の川内川右岸(大小路側)で、総合防災訓練があり、市や消防局、薩摩川内警察署、地域住民など27団体562人が参加しました。同訓練では、地震や大雨に伴う災害などを想定。消火や救出訓練、全国初の大規模電気路線バスを使った避難所運営訓練など、さまざまな非常時に応じた訓練が行われました。

地震・大雨を想定
非常時に備えて総合防災訓練開催

夕闇に漂う
ホタルの光(青山町)

平成26年5月16日撮影

市内各地から
ままの話題



**コンテナ取扱量は
就航時の約10倍に**

5月16日(金)、市内のホテルで、薩摩川内港韓国定期コンテナ航路開設10周年記念式典が開催されました。岩切秀雄市長が「利用しやすい港にするため、サービスの充実に努めたい」とあいさつし、式典参加者約100人が同港のさらなる利便性向上と利用促進を誓いました。



入来
笑いあり感動あり
薩摩川内こころの川柳大会

5月11日(日)、入来小学校で「薩摩川内こころの川柳」大会が開催されました。これは、第30回国民文化祭のプレ大会として実施されたもので、ジュニア・高校一般の2部門に全国から3130人が事前投句されました。入賞作品が詠み上げられると、県内外の愛好家ら約400人が集まった会場は、拍手や笑いに包まれました。



樋脇
閉校跡地に
野営場が完成

野下小学校跡地に、日本ボーイスカウト鹿児島県連盟の活動拠点施設が完成し、5月5日(月)、記念式典が行われました。校庭には野営場、2階建ての校舎内には教室を活用した畳敷きの宿泊室や展示室などが整備されました。学校跡地がボーイスカウトの活動拠点施設になるのは全国初。